

募集します!

夢但馬応援事業

助成のご案内

地域団体が行う「あしたのふるさと但馬」を目指して取り組む事業のうち、要件を満たす者に対し、経費の一部を助成します。



対象団体

規約や代表者を決めている地域団体や実行委員会など

対象事業

(次の全てを満たす事業です。)

- ①あしたのふるさと但馬を目指して取り組む事業
- ②夢但馬2014の想いを定着させ、これからも継承するために取り組む事業
- ③地域活性化に資する事業や、団体の創意工夫による地域の特性を活かした事業

あしたのふるさと但馬とは?

そこに住む人々だけでなく訪れる人々とも、共に安らぎや感動、共に生きる喜びを分かち合える「交流共生」の地域

助成金額

上限50万円(予定)

申込み方法

所定の申込書に必要事項をご記入の上、提出先までご持参ください。申込書は各市町役場や但馬県民局で配布しています。

募集期間

平成27年4月1日(水)
～
平成27年4月30日(木)

問い合わせ・資料請求・提出先

こころ豊かな美しい但馬推進会議
(但馬県民局地域政策室内)
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11
TEL 0796-26-3647
FAX 0796-24-7074

但馬の魅力や豊かさが見える 但馬力指標 をチェックしよう!

- ★地域の異なる世代の人とのつきあいがある人の割合 …71.2%(県内 No1) 55.6%(兵庫県平均)
- ★合計特殊出生率(一人の女性が一生に産む子どもの平均) …1.84人(県内 No1) 1.41人(兵庫県平均)
- ★自慢したい地域の宝(風景や名所)があると思う人の割合 …62.4%(県内 No1) 49.3%(兵庫県平均)

但馬を表す「但馬力指標」の詳細はホームページをご覧ください。

但馬夢テーブル委員会に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

但馬夢テーブル委員会事務局(但馬県民局地域政策室ビジョン課内)
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 ●TEL 0796-26-3615 ●FAX 0796-24-7074

但馬地域ビジョンについては、ホームページで公開中です!
<http://web.pref.hyogo.lg.jp/area/tajima/vision.html>

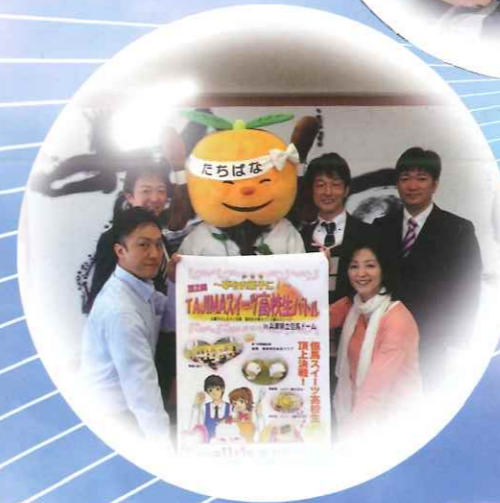
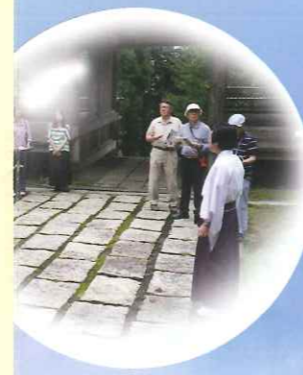


26但馬◎2-007A4

第23号
2015.3

たじま 夢つうしん

詳しい活動内容は
『但馬夢テーブル委員会』
Facebookページを見てね!
<https://www.facebook.com/yumetable>



但馬
テーブル委員会
Table of TAJIMA DREAMS



今但馬が描くビジョン
「～あしたのふるさと但馬～コウノトリ翔る郷」
但馬に住む人々、また訪れた人も共に安らぎ、感動、
生きる喜びを分かち合える地域を目指します!

Contents

- 第7期委員長・副委員長あいさつ
- 第7期グループ活動紹介
- イベントの開催
 - ・夢カフェ(朝来・香美)
 - ・但馬地域夢会議
- 但馬県民局からのお知らせ
 - ・夢但馬応援事業について
 - ・但馬力指標について



第7期 但馬夢テーブル委員会



委員長 浮田 喜弘

「発信」と「連携」で但馬を熱く!

但馬夢テーブル委員会の第7期の活動も、早や1年が経ち折り返し地点となりました。今期私たちは「発信」と「連携」の二つのキーワードを掲げ、愛するふるさと但馬をさらに盛り上げるため活動してまいりました。

メディアやFacebook、コミュニティ誌を通じての発信は基より、広い但馬3市2町を活動を通じて巡り、ひとりでも多くの方々の「心」へ私たちの思いを伝播させることが大切であると考えます。

私も但馬夢テーブル委員会の一営業マンとなって、もっともっと「発信」していきたいと考えています。

又、メンバー同士は基より、地域の方々、他団体との「連携」が大切であると考えます。

さまざまな方々との意見交換の場である「夢カフェ」や「夢会議」を開催し、点から線へ、線から面へ、オール但馬で盛り上げていける、その一端を担えるよう頑張っていきたいと思っております。

本年度、但馬理想の都の祭典から20周年ということで開かれた「出会い・感動 夢但馬2014」を提唱したのは、何を隠そう我々但馬夢テーブル委員会でありました。我々が投じた一石がかたちとなり、一年を通しての一大事業となりました。しかし、本当に大切なのはこれからです。この活力ある、魅力に満ち溢れた但馬の火を絶やしてはなりません。引き続き「発信」と「連携」をもって、訪れたい但馬、住みたい但馬、熱い但馬を目指して活動してまいります。今後とも但馬夢テーブル委員会をどうぞ宜しくお願い致します。



副委員長 中島 健夫

第7期活動(前半)を振り返って

但馬夢テーブル委員会の7期の活動を振り返ってみますと、4月～6月に委員全体が集まる全体会を開催し、意見を出し合いながらグループ活動のテーマを決めていきました。テーマを決める中で村岡高校の地域創造類型の取り組みや村岡おんがえしプロジェクトの活動に触れ、地域を盛り上げようとする若手の活動を興味深く聞き入りました。

7月には浜坂高校の生徒さんと「但馬の将来」について語る機会を頂き、高校生の今時の考えや、但馬に何を想っているのかを自身も振り返るいいきっかけとなりました。10月に朝来市、1月には香美町で若い世代の母親方に集まっていただき、「夢カフェ」を開催しました。私にとって但馬夢テーブル委員会は沢山の意見や思いを聞き、色々な考えがあるものだと思えることができるおもしろい活動です。「出会い・感動 夢但馬2014」の後、但馬を前に進めて行く原動力となり、紆余曲折はあるかもしれませんが、どれだけ軌跡を残していけるのか、これからが楽しみです。



副委員長 太田 佐千子

夢をつなげて

春・夏・秋・冬。4つの季節が早くも過ぎようとしています。この一年間で「出会い・感動 夢但馬」の様々な催しが繰り広げられ、皆さんもそれぞれに携わってこられたことと思います。

その度に感じるのは、委員の皆様のなんと多彩なこと!

私が参加したこととしては、夏に浜坂高校での意見交換会、秋には朝来で夢カフェを開催しました。当たり前ですが、それぞれの意見には地域の特徴があり、世代の違いもはっきりしています。あらためて、但馬の広さを実感することができました。と、同時に但馬の「持っているもの」の多いことにも気付かされます。独自の自然、多様な文化、そして人材の宝庫。高校生もヤングママも、聡明で芯の強い人たちにたくさん出会えた一年でした。グループ活動としては「タジマモリあげ隊」で、「夢をお菓子に」をテーマにして、第2回

高校生スイーツバトルを展開してきました。

夢をかたちにするのは難しいことです。少しずつ近づいているのか、遠ざかっているのか、わからない時もあります。でも、一つ一つの過程が、また、それを一緒に歩む仲間がいることが活動の醍醐味なのかも知れません。私達は夢の途中にいて、但馬を思う気持ちでつながっていることに感動しています。

但馬いかそうかい

リーダー 熊田 得男
副リーダー 本田 治
副リーダー 濱崎 忠史
広報担当 辻本 康次
大谷 幸司
大西 英剛
片山 正己
日下部 建夫
曾我 一作
田淵 兼光
中西 正芳
中尾 康彦



私達は「但馬の過疎をいかに、但馬の自然をいかに、但馬の人をいかに。」を合言葉に、まず小水力発電の地域への導入の可能性をさぐる活動を行っています。

現在3KWの発電機器で発電に適した場所もやっと見つかри、今年3月には神鍋で実験を行うことになりました。ぜひ成功させ、広くお披露目のイベントを開催し、本設の発電所の設置場所を募り、さらなる可能性の実現に結び付けていきたいと考えています。

今年はバイオマス(薪)の活用にも取り組んでいきます。但馬のエネルギー消費を自然エネルギーでまかない、地球温暖化の防止、地域経済への循環型効果につながる「エネルギーの自給自足」を実現する事を夢見て楽しく、真剣に活動しています。

自然ゆめ探検隊

自然ゆめ探検隊は自分たちで体験した但馬の自然を感じられる活動を「但馬遊びナビ」に投稿して、但馬の魅力の発信を行っています。

今年の活動は9月に香美町今子浦海岸でのスノーケリング体験、浅瀬や藻の中にいる熱帯魚など、解説を聞きながらの約1時間半の体験。11月には大屋町で但馬随一の天滝、横行溪谷の紅葉体験、木の葉という布団を大地の生き物たちに被せている様な大自然の暖かさを感じました。

みなさまも「但馬遊びナビ」で検索して、但馬を感じて見て下さい。

リーダー 竹森 明光
副リーダー 杉山 隆一
広報担当 井上 嘉文
田中 正
中島 健夫
沼田 秋子
福田 あつ子
前田 敦司
前田 由香里
水谷 保昭
森本 七重
久保 千賀子
本井 裕司



タジマモリあげ隊

リーダー 太田 博章
副リーダー 萩原 哲也
広報担当 上村 俊雄
伊藤 千可志
浮田 喜弘
太田 佐千子
岡本 雄一郎
木下 道則
仲島 陣
脇本 充
出田 悦子
久保 千賀子
本田 治



私たちは、「お菓子の力で但馬を盛り上げる」という理想に少しでも近づいていくべく、第6期から継続して活動しているタジマモリあげ隊です。

そんなビジョンの下、昨年11月に行った「第2回～夢をお菓子(かたち)に!～TAJIMAスイーツ高校生バトル」では、6校8チーム30名にも及ぶ但馬のスイーツ高校生たちが、夢のお菓子と溢れんばかりの個性をステージ上で存分に発揮し、但馬ナンバーワンを目指して熱いバトルを繰り広げてくれました。

これが、但馬の未来を担う高校生とその関係者の方々に、但馬の宝である「お菓子」を通じて夢や希望、また人とのつながりや故郷への愛着・誇りなどを感じてもらえるような取り組みになることを願いつつ、あわせて私たちメンバーのさらなる成長も目指して、第7期もがんばって活動していきます。



第2回～夢をお菓子に!～
TAJIMAスイーツ高校生バトル
入賞作品

愛する但馬

リーダー 中井 沙織
副リーダー 河原 学
井上 充司
小林 一英

防災や健康づくりをテーマに世代間交流をすすめ、誰もが愛するふるさと但馬をめざす活動を現在検討中です。

但馬食物語

リーダー 久保 千賀子
副リーダー 村瀬 晴好
広報担当 畑中 照久
広報担当 鈴木 千佳
広報担当 松岡 茜
広報担当 三輪 翠
川見 和秀
小島 義明
藤原 文男
片山 正己



私たちのグループの名称の由来は、但馬の食材には全て「物語」がある!ということが発端となっています。和牛のルーツである「但馬牛」。和牛のDNAは99.9%、但馬牛の田尻号がルーツと言われています。但馬でも知られているようで知らない方も多いのではないのでしょうか。

こうした但馬の食にまつわる歴史的な物語や現状を発信しよう!という事で決まった名称です。

第7期1年目は、鹿による田畑の被害が増えている中、駆除後に肉として販売されている小代地区の取り組みを勉強した後、鹿肉の試食会を開催しました。

鹿肉は臭い、硬い、まずい、などのイメージがありませんか?

試食会前のメンバーのイメージも同じでした。しかし試食してみると、「美味しい!柔らかい!」などの感想ばかりで、総合的には「食べやすいのに誤解していたわ! また食べたい!」と、積極的な意見が出ました。

これからも、色々な但馬の食材の物語を発信し、但馬の食ブランドの向上と但馬地域の活性化に繋がる活動を行っていきます。

神社仏閣を知ろう!

リーダー 中尾 康彦
副リーダー 岸田 明美
小山 昭二
西垣 善夫
平尾 仁
三木 怜
水上 健治
本井 裕司
守山 織衣
森脇 圭一
出田 悦子
上崎 喜代美
曾我 一作
藤原 文男



神社やお寺の建物の見方を知ろうと集まったメンバー。忙しくなかなか全員が集まれません、一般の人も交えて活動をしています。

今までに見学会を5回、古建築の講習会を京都の専門家を呼び3回行いました。見学会を始めてわかったことは、今まであまり知られていませんでしたが、宗教寺(豊岡市出石町)の本堂が本格的な寝殿造で造られていました。

薬師堂(養父市八鹿町)では、建物の時代背景や建物の改造の時期など参加者で確認しあったほか、名草神社では三重塔の内部を見せていただき、出雲から移築された当時の建築を見ることも出来ました。

第4回目の見学会は建築士会の研修に参加し、松江、鳥取西部の神社仏閣と町並を見ることが出来ました。このように今後も、但馬各地に出向き、貴重な建物の歴史を紐解いていきたいと思ひます。



高校ドリーム調査隊

リーダー 岡坂 遼太
副リーダー 小林 治平
広報担当 渡邊 正則
伊木 翔
谷垣 宏樹
岡田 俊二
仲山 啓一郎
西垣 義嗣
松原 慎吾



「但馬で頑張る高校生を応援したい」その想いから私たちのグループは立ち上がりました。第7期からの新規メンバーを中心としたグループで、悪戦苦闘しながら活動しています。

今行っている活動はFacebookページで頑張る但馬の高校生を紹介すること。そのために高校生の催すイベントなどに足を運び取材を行っています。嬉しいことに紹介をはじめから「今度うちでやるイベントも取材してよ!」との応援依頼もちらほらと。

現在はまだ数件しか記事をあげていませんが、さらに多くの高校生の活動を紹介し、但馬内外に発信するとともに元気な高校生と地域の大人も盛り上がる活動を行っていきたくと思っています。

みなさんの地域で頑張る高校生がいっぱいありましたら高校ドリーム調査隊までご連絡ください!

寄稿もお待ちしています。



但馬古民家探訪

古民家探訪グループは、但馬の財産となる古民家の保存と活用について勉強するグループです。

今年は豊岡市八代地区の空家だった旧医師宅を地元の有志がボランティアで再生、「か行庵」として、一般に公開している事例や養父市大屋の古民家を再生したギャラリーを訪問したほか、三木や姫路など他地域の古民家の活用状況についても勉強しました。

但馬と違った規模・建築様式(虫籠窓・舟板壁・越屋根・袖卯建)を勉強することで、但馬の古民家という財産を将来に伝える活動の必要性を改めて考える機会となりました。

活動に興味のある方は是非ともご参加ください。

リーダー 吉田 順一
副リーダー 大林 守
広報担当 中島 正
中島 隆司
村上 猪一郎
家木 悦子
出田 喜代美
上崎 孝志
西村 莊一
山根 周作
吉谷 嘉文
井上 昭二
小山 昭彦
中尾 康彦
西垣 善夫



夢カフェ 開催!

(住民参加によるカフェ型ワークショップ)



但馬夢テーブル委員会では、くつろいで話ができる「カフェ」のような形式で、地域の人達との交流、人と人のゆるやかなつながりをつくる場として「夢カフェ」を開催しています。

今年は朝来市と香美町において、地域と関わる機会はいくつもありますが、地域について発言する機会が少ない、子育て中の女性などに集まっていただき、自分の住む地域や理想のまちについて意見交換を行いました。



但馬地域夢会議 開催!

但馬地域夢会議とは、但馬地域ビジョンが目指す将来像の実現方策などを検討するため、但馬夢テーブル委員や地域のみなさんが知事や有識者等と意見交換をする場として、毎年開催している会議です。

平成27年3月1日(日)に但馬空港ターミナル 多目的ホールで「夢を語れ! 但馬大好き人」をテーマに但馬地域での夢の実現を語り合います。(写真は25年度実施時のもの)

